

株式会社 アイケー

〒912-0015 福井県大野市中挟 1-9-1
 設立：1972年(昭和47年)10月
 代表者：代表取締役社長 川田 芳雄
 資本金：1,000万円
 従業員数：90名(グループ総計)
 就業時間：8時30分～17時10分
 連絡先：0779-66-0848(担当者:川田)
 URL：http://www.ik-bj.co.jp

Search!!



こんなことをしている会社です

- 婦人ランジェリー・ファンデーションの企画・製造・販売
- グループ会社
(株)B-J(ポーポワール・ジャパン) (株)リヴィエール (有)ピンクッション



(株)アイケー本社



自動裁断機・CAM



(株)アイケー研修センター



(株)アイケー開発工場

我が社のウリ!

心を込めて愛される製品づくり

信頼そして繁栄
 「人として、企業として、如何に信頼関係が大切で有ろうか。信用を得ることは難しいが、失うときは一瞬である。私達は日々間違いのない仕事をしようと努力しているが、少しの油断が喪失をうみます。【間違いの無い事】こそが繁栄と知ろう。」をテーマに企業活動に努めています。

仕事を見てみよう!!

製品製造過程

品質を重視し、顧客に喜ばれる製品を生産し、納期通り納品します。



CAD
 パターンデータの作成入力・修正



検査・出荷
 製品検査後出荷



縫製
 ラインで製品を縫製



裁断・レース
 生地・レースの延反・裁断



サンプル室
 本生産前のサンプル製品作成等

どんな仕事があるの?

製品企画・サンプル室

OEM®の場合は依頼された製品データに不具合や間違いが無いパーツ毎にチェックや修正を行い、本生産に支障が出ないように確認しながら作製します。自社企画はこんな物があつたら便利だなと頭の中でイメージした物を形にします。立体的な製品を平面にしてパターンを作るのが一番難しい作業です。

※OEM...他社ブランドの製品を依頼され、製造すること



裁断

伸びる生地、縮む生地、変形する生地と色々な種類の生地を特徴に合わせてパターン通りに切ります。CAMは自動で裁断してくれる機械ですが、人間が手で切るよりも6倍速いと言われますがCAMでは切れない生地やレースはやはり人の手でひとつひとつ丁寧に切ります。



縫製

工業用のパワーモーターもあるミシンを使って生地と生地を縫い合わせていきます。真っ直ぐ縫うだけでも最初は難しいですが、熟練者のスピードと仕上がりの綺麗さには感動します。1枚の裁断された生地が、少しずつ縫い合わせられて、ミシンを越えていく毎に形が変わり皆さんの手元に届く製品になっています。



インタビュー

働く人



かわだ よしみつ
川田 芳光 さん
 [取締役 専務]

{ 会社の特徴 }

全社員の9割が女性です。各部門の責任者もほとんどが女性で、女性が活躍できる会社です。主に女性用下着の製造を行い、資材の仕入れから裁断・縫製・検査・出荷まで一貫した生産を自社工場で行えます。日本国内に女性用下着を一貫生産できる工場は、もう数件しかありません。

{ 求める人材 }

発想する力があり、それを実現する為に努力ができる人
 責任感が強く、徹底して物事に取り組める人
 現状維持でなく常に創意工夫できる人

{ これからの会社について }

世の中にはいろいろな仕事があり、その多くは生活を豊かにすることに携わってると思っています。

{ メッセージ }

建設会社の方は道や建物を作ることに喜びを暮らしを便利に、アーティストであればその歌や作品で見る人に力を与えるように、一生懸命気持ちを込めて建築物や作品を作ると思っています。
 当社は直接肌に身につける下着製品を作っている会社です。
 目標は当社が生産した製品を着た人が感動したり喜んだりしてもらえような物作りをすることです。
 その為に、一針一針気持ちを込めて製品を作っていくかなければなりません。
 現在はほぼ100%OEM生産(メーカーから依頼された製品を作る)ですが、今後は自社製品作りにも力を入れ、自社ブランドの開発・販売を進めていきたいです。
 女性のブラジャーは乳房を支えて乳腺を守ることが基本の目的ですが、最近は姿勢を良くしたり、温めて病気の予防をしたり、育乳したりする効果がある機能ブラジャーも多くなりました。
 胸が大きくなる成長期から正しいブラジャーを着用すると胸の形が良く姿勢も良くなると言われています。
 この応用で女性用の下着以外にも健康・介護・スポーツの分野で我々が出来る仕事はたくさんあります。
 例えば、着用することにより動きが楽になったり、パフォーマンスがあがったり、けがの予防ができる下着、正しい動きをサポートする下着、腕が振りやすくなったり膝が曲がりやすくなる下着など口で言うほど簡単にはできませんが、このような製品を世の中に生み出すこと、そして当社の製品を身につけることにより、その人が元気になるような物づくりができる会社にしていきたいです。

株式会社 石塚七左工門商店

〒912-0046 福井県大野市神明町 119
 設立：1945年(昭和20年)4月
 代表者：石塚 一恵
 従業員数：10名
 就業時間：8時30分～17時
 連絡先：0779-66-2477(担当者:石塚)
 URL：http://miyage.ono-city.com/shop/ishizuka



こんなことをしている会社です

○食品製造・加工・販売

(例)大野産米の精米、麺類(そば、うどん、中華そば)、各種餅、赤飯など

○スーパー等への自社製品の卸売

○セルフサービスレストランめん処「どん」の運営

主に麺類、餅、おにぎりなど自社製品メニューを提供



自社製品



店内



社屋

我が社の
ウリ!

安心して安全な食を提供する会社

豊かな土壌で育った大野産の米と水を使用して、お客さまに素材の味を楽しんでいただけるよう、安心して安全な製品づくりを心掛けています。

仕事をしてみよう!!

1. 半生めん製造工程



- ①混合
自動機でそば粉、小麦粉、水、山芋を混ぜ合わせます。
- ②圧延
自動機で平たく伸ばします。
- ③切り出し
自動機で計量して麺状に切り出します。
- ④熟成
自動機で遠赤外線による殺菌と熟成を行います。
- ⑤取り出し
加工された麺を取り出します。
- ⑥袋詰め
麺を折り曲げて玉にし、袋詰めします。

2. 茹めん製造工程



- ①茹でる
麺を自動茹釜機で茹でます。
- ②玉取り、袋詰め
自動玉取機により玉取りから袋詰めまで行います。
- ③検査
計量器による計量と金属探知機による検査を行います。
- ④殺菌
殺菌庫に入れ、殺菌を行います。

どんな仕事があるの?

営業

- 企業、スーパー等への商談と商品の配達

事務

- 伝票整理、入力、帳票作成

製造

- 麺類製造・加工 ○米の精米
- 餅・赤飯の加工 ○製品の袋詰



インタビュー

働く人

- いしづか しげのり
● 石塚 重徳さん(左)
[役員]
昭和17年生まれ
- いしづか かずえ
○ 石塚 一恵さん(右)
[代表]
昭和44年生まれ
- いしづか かいと
● 石塚 凱斗さん(中)
[次期後継者]
平成10年生まれ



{ 仕事の印象について }

- 子供の頃から、麺類やお餅の製造を当たり前のように手伝っていました。工場でできた、つくたての草餅をきなこで食べるのが大好きです。
- 良い製品をできるだけ安価に提供できるよう、さまざまな苦勞もありますが、やりがいがありますね。従業員が仕事と家庭の両立ができるよう、労働時間を工夫して、働きやすい環境をめざしています。

{ 製品づくりのこだわりについて }

- 朝晩の寒暖の差があり、水に恵まれた大野の風土が当店の製品製造にとっても適しています。当店では、素材を活かしたシンプルな製品が多いので、お客さまに安心して安全な食を提供できるように原材料を選んでいます。そこがこだわりですね。特に米は市内の契約栽培農家から直接仕入れていきます。

{ 後継者に期待することはなんですか? }

- 市場の変化に臨機応変に対応する力ですね。今は娘が後継者として頑張ってくれており安心して任せています。孫もいずれ後継者として大野に戻って欲しいですが、学生時代は自分の好きな道を歩んで欲しいと思っています。

{ これからの「石塚七左工門商店」について }

- 麺や餅などの定番商品のほか、急速冷凍技術を活かして、菓子製造など新たな分野にも取り組んでみたいですね。大野市の美味しいお米を全国に発信し、地域に貢献できる企業をめざします。
- 学校でも実験が好きなので、うま味成分や味覚について研究して、新製品を開発してみたいです。
- ホームページの整備や人材育成に取り組み、営業部門を強化して今まで以上に製品を直接お客さまにお届けできるようにしたいです。よりよい製品づくりのためにも、お客さまの声を大切にしていきたいですね。

稲山織物株式会社

〒912-0053 福井県大野市春日 64-50
 設立：1962年(昭和37年)12月(創業昭和7年)
 代表者：代表取締役 稲山 幹夫
 資本金：5,000万円
 従業員数：70名
 就業時間：8時30分～17時まで(交代勤務制有)
 連絡先：0779-66-3360(担当:梅林)
 URL：http://www.inayama.co.jp/



こんなことをしている会社です

○合成繊維を原料とする織物等の生産や、
 繊維製品の企画・製造・販売をする会社です。



外観



折りたたみ式
 サポートマット

我が社の
ウリ!

蓄積した自社技術ノウハウにより
 織物製造会社から産地提案型の
 テキスタイル企業へ飛躍します。

- スポーツ衣料・ユニフォーム衣料用機能性素材、高級婦人衣料用感性素材、産業資材など合繊織物の企画開発、製造、販売
- 自社のハード(技術・設備)とソフト(デザイン・情報)を駆使し、関連事業分野への展開を推進

仕事を見てみよう!!



<企画開発>
 新商品の開発をします。



<生産>
 生産工場で製造します。



<撚糸>
 原糸に"撚り"をかけます。

<整経>
 糸に必要な本数/長さ/張力等揃えます。

<織布>
 タテ糸にヨコ糸を
 織り込みます。

<出荷>
 生機(きばた)を
 染色加工場に出荷します。



どんな仕事があるの?

製造事業

- 撚糸・ワインダー
- 整経・サイジング
- ドローイング
- 織布 ○検査

研究開発

- 新織布の研究
- 新商品の開発

事務

- 一般事務
- 生産管理
- 製品管理



メッセージ

次世代を担う若者に一言を...

いっし にゅう こん
《一条入魂》

いなやま みきお
 【代表取締役】稲山 幹夫 さん



皆さんが生まれ育った安心・安全で清潔な故郷「越前おおの」でゆったりとしたストレスの無い人生を満喫しようではありませんか。そして、明るく、楽しく、元気よく、モノづくりに打ち込みましょう!

インタビュー

働く人

社会人の先輩から学生時代のことを踏まえながら
 職場についてお聞きしました。



ささしま ゆうき
篠島 佑樹 さん (入社：5年)
 【営業第二課長】

学生時代はサッカー部に所属し、サッカーに明け暮れていました。練習は辛く、大変でしたが、一緒に汗を流した仲間は今でも付き合いがあります。織物会社に就職して繊維の奥深さを知りました。衣類や資材などに使われる繊維はどのように作られているのか。繊維でできる布には、製造者の情熱が込められています。

私は、この繊維の仕事を通して、若い皆さんに繊維のおもしろさを広く知ってもらいたいです。そのためにも、この会社で一生懸命頑張りたいです。



しまだ ゆうじ
嶋田 雄二 さん (入社：15年)
 【営業(ウォータージェット)担当】

学生時代ですか? 私は中学校では卓球、そして高校では囲碁部に在籍していました。チョッと変わってますよね。でも今では、これが職場の先輩とのコミュニケーションには重宝しています。誘われた時、お付き合いできる程度がいいんです。

職場では皆さん黙々と仕事をこなし、口数は少ないですが、暖かく応援してくれます。やっぱり大野人の人柄ですかね。本当に大野で就職できたことを喜んでいます。



よねつ まさひろ
米津 雅啓 さん (入社：23年)
 【織布(エアージェット)担当】

高校時代は弓道部に在籍し、友達と毎日ワイワイガヤガヤしながら楽しく過ごしました。都会にも憧れましたが、やっぱり、社会人になっても気心の知れた高校時代の友達に囲まれて楽しく暮らしたいという気持ちが強く、当社にお世話になることにしました。

仕事の内容は繊細で注意力が求められます。純朴な大野で、今は心にゆとりをもって人生をエンジョイしています。

株式会社エツミ光学

〒912-0437 福井県大野市中堀 32-10-7
 設立：1973年(昭和48年)7月
 代表者：代表取締役 小林 和宏
 資本金：3,000万円
 従業員数：189名
 就業時間：日勤 8時15分～午後4時45分
 ※3交替：夜勤 午後4時15分～午前0時45分
 ：深夜勤 午前0時15分～午前8時45分
 連絡先：0779-66-2434(担当:総務部 伊與)
 U R L : http://www.etsumi-opt.co.jp/

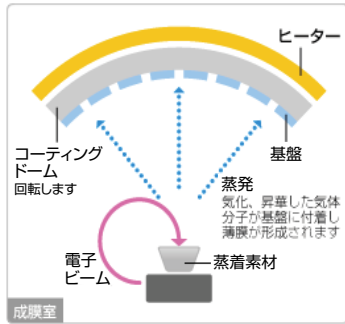


こんなことをしている会社です

- 車載部品、各種工業製品やサングラスレンズ、カメラレンズへの真空蒸着加工
- 海外ブランドサングラスレンズのレンズ加工・組立



様々な分野に当社の蒸着処理が使われています。



【真空蒸着とは】

我が社のウリ!

越前大野から未来を創るテクノロジー

当社は、*真空蒸着の高い技術力を活かし、塗装や印刷では表現できない発色を生み出すことができます。長年培った、信頼性ある高い技術力・開発力は、お客様が求める「より良いもの」を作る原動力となっています。

*真空中で金属や酸化化合物などを加熱により蒸発させ素材の表面に付着させる処理・薄膜をつけること

仕事を見てみよう!!

サングラスレンズ加工工程



洗浄工程
レンズ表面に付着している埃や汚れ等を超音波洗浄を行い綺麗な状態に仕上げます。



蒸着工程①
専用治具にレンズをセットして蒸着機へ。真空蒸着を行います。



蒸着工程②
真空蒸着後のレンズ。光学特性の確認を行います。



蒸着工程クリーンルーム
クリーン化された環境で生産することで品質を安定させています。



枠入れ、出荷
フレームにレンズをはめ込み、最終検査を行い梱包。



加工程②
ロゴ印刷などを行い最終仕上げ状態に。



加工程①
レンズを指定の形状に加工します。



検査工程
外觀検査を行い、製品に異常が無いを確認します。

どんな仕事があるの?

コート製造部

- 蒸着機オペレーター
- 装置メンテナンス
- 治具関係の設計・製作

総務部

- 電話対応
- 来客対応
- 消耗品資材の発注管理

開発部

- 新規コーティング技術の開発

技術営業部

- 取引先対応
- 見積もり書作成
- 試作蒸着業務

品質保証部

- 新規立ち上げ品の耐久性試験
- 量産品の品質管理

管理部

- 生産デリバリー業務
- 蒸着前洗浄
- 出荷前検査
- 梱包作業

サングラス製造部

- 生産デリバリー業務
- サングラス切削加工
- 仕上げ
- 出荷前検査

インタビュー



ふじい ことめ
藤井 琴女さん
【所属：管理部 前工程（入社2年目）】

{ 会社選定の理由は? }

エツミ光学を志望した理由は三つあります。一つ目は地元で働きたいと思ったからです。二つ目は会社見学した時、真剣に作業している姿や楽しそうに働いている姿を見て、私もここで働きたいと思ったからです。三つ目は社内がとてもキレイだったからです。どこを見てもピカピカでとても驚きました。

職場見学に行った際にとっても雰囲気の良い職場だなと感じました。また、会社全体がキレイでここでなら心地よく仕事が出来ると思ったからです。

{ どんなお仕事をしていますか? }

私は主にお客様からお預かりしたガラス製品を洗浄する工程の作業をしています。洗浄前や後に汚れやキズがないかを確認したり、数量の確認などを行っています。ガラス製品なのでキズを付けないように慎重に作業しています。

サングラスのレンズや腕時計などに真空蒸着と言う技術を使い表面加工をしています。世界に誇れる高度な技術を用いて、会社一丸となってお客様に満足してもらえる製品づくりを行っています。



しほら まこと
篠原 誠さん
【所属：コート製造部 コート課（入社3年目）】

{ お仕事をしていてうれしいときは? }

入社した当初は何をするにも時間がかかり上手くいかない事が多く悩んでいました。でも最近では自分ができることが少しずつ増え、作業時間も以前より短縮できるようになり、それがとても嬉しいです。

真空蒸着はとても奥の深い技術です。日々、発見と学びの繰り返しです。入社当時は先輩方に手を借りていたことが今では自分一人で行えることが沢山増え、成長を感じています。その時が一番うれしいです。

{ これからの目標は? }

淡々と目の前の作業をこなすだけでなく周りをよく見て自分は今何をしたらいいのか考え行動できるようになりたいです。また安心して仕事を任せてもらえるように責任をもって一つ一つ仕事を丁寧にこなしていきたいです。私は仕事でミスをした時やトラブルがあった時、焦ってしまうので冷静に対処できるように普段からいくつかの対処法を想定して考える癖をつけたいです。

今まで先輩方に仕事のやり方や社会人としてのマナーを教えてもらってきました。なのでこれからは後輩に頼られる人になれるようになるのが目標です。その為に「ミスがない確実な作業」、「積極的に新しいことに挑戦」を心掛けていきます。

地域貢献・レクリエーション

{ 地域イベント }



毎年恒例となる名水マラソンに参加しました。地元の、皆さまに我が社を知ってもらえ、参加メンバーはエツミ光学製サングラスとエツミ光学カラーのマラソンTシャツを着用し参加しました。

{ 社内行事 }



毎年恒例の忘年会。従業員100人以上が集まる大宴会です。一年間を振り返り、皆で楽しく食べて飲んで歌います。その他にも慰安旅行や納涼祭など沢山の行事があります。

大野パッキング株式会社

〒912-0813 福井県大野市上野57-1-1
 設立：1968年(昭和43年)4月
 代表者：代表取締役 臼井善丸
 資本金：2,500万円
 従業員数：52名
 就業時間：8時～17時
 連絡先：0779-65-3511(担当者:臼井)

Q こんなことをしている会社です

○紙管の製造・販売

(例)織物用の各種紙管、賞状・図面用紙管

○紙管製造技術を応用した包装用容器

(例)お茶、海苔、漬物、菓子、玩具など

○販売拠点

鯖江工場、福井営業所



<社屋>本社を中心に市内に3箇所の工場があります。



<丸筒賞状入れ>春の卒業シーズンになると全国から発注がきます。



<各種容器>お店の店頭などで見かける食品や小物を入れる各種紙容器です。



<紙管>織布や自動車用ハーネスを効率よく巻き取るための芯になる管です。

我が社のウリ!

しかん 紙管製造で北陸トップクラスの企業

紙管製造業とは、原料となる紙を仕入れ、さまざまな形に加工し、販売することが仕事です。長年積み重ねた加工技術で、今では、単なる紙管から、装飾・包装用の容器を生み出すまでに至りました。お茶・海苔・菓子・玩具など皆さんの身近にあるモノに当社の製品があふれています。お客さまの要求に応じて、高い技術力で製品を製造しています。

Q 仕事を見てみよう!!



資材入荷

大野市内の複数の工場で作られる製品は違うため、製品に対応した資材が各工場内に運び込まれます。



製造加工

搬入された資材は工場に設置してあるコンピュータ制御の製造機械により仕様書に基づいて加工され、製品化されます。製造機械は全て工作機械製造会社で設計・製作されています。



納品

製品検査を行った後、自社トラックで北陸を中心に全国各地へ出荷されます。



製品開発

お客さまの要望に対応するため製品開発に努めています。

Q どんな仕事があるの?

運搬

資材の搬入及び製品の搬送

製造

コンピュータ制御の製造装置のオペレート

事務

一般事務、顧客管理

開発

製品開発

インタビュー

働く人



さいとう まさひこ
 斎藤 正彦さん
 (入社17年目)
 趣味：ドライブ、旅行

{ 会社のいいところは? }

のどかな場所にあることですね。自分は元々騒がしい所が苦手なので、自然と田んぼと山々に囲まれた静かでのどかな所なのがいいですね。季節ごとに見せる自然の顔がとても美しいですよ。

{ 仕事のやりがいを教えてください }

物を作るという意欲ですかね。「どのような物を作るのか」と考えることがやりがいです。お客様の手に届いて喜ばれて、次に繋がっていることにやりがいを感じます。

{ どのような仕事をしていますか? }

紙の管と書いて紙管と言う物を製造しています。繊維会社や織物会社に紙管を納めています。

{ オフの時はどのように過ごしていますか? }

旅行ですね。色々な地に赴いて、おいしい物やその地域の特産品などを見て回っています。物作りの参考になればと。色々各地を見て回りましたが、やっぱり大野の自然と落ち着いた景色が一番ですね。